

アッヴィ、2016年度通年および第4四半期の業績を発表

February 09, 2017

本資料は、米国アッヴィ社が2017年1月27日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、2017年2月9日、皆さまのご参考にご提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。なお、本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

アッヴィ、2016年度第2四半期の業績を発表

- 2016年度通年の希薄化後EPSはGAAPベースで3.63ドル、調整希薄化後EPSは前年比12.4%増の4.82ドル
- 2016年度通年の売上高はGAAPベースで256億3,800万ドル。調整後売上高は営業ベース13.3%増の255億6,000万ドル
- 2016年度通年のヒュミラの全世界での売上高は営業ベースで16.1%増の160億7,800万ドル
- 2016年度通年のイムブルピカの全世界での売上高は18億ドル超
- 2016年度第4四半期の希薄化後EPSはGAAPベースで0.85ドル、調整希薄化後EPSは前年同期比6.2%増の1.20ドル
- 2016年度第4四半期の売上高はGAAPベースで67億9,600万ドル。調整後売上高は営業ベースで6.9%増の67億8,400万ドル
- ヒュミラの全世界での売上高15.5%増を反映し、第4四半期の総売上高は営業ベースの売上高で16.2%増
- 2017年度のGAAPベース希薄化後EPSの見通しを4.55~4.65ドルと予測。2017年度の調整後希薄化EPSの見通しを中間値で13.9%の成長となる5.44~5.54ドルと予測

米国イリノイ州ノースシカゴ（2017年1月27日）/PRNewswire/—アッヴィ（NYSE：ABBV）は、2016年度第4四半期および通年（2016年12月31日終了）の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、同社の2016年度通年および第4四半期の業績について次のように述べています。「2016年第4四半期も堅調な業績を達成し、2013年の創業以来、アッヴィの事業は好調な動きを継続しています。2016年度の総売上高およびEPSの伸長は業界でもトップランクに入ります。長期かつ継続的な成長を促進するために、当社は強固な経営の実行、財務規律および当社の強力なパイプラインにより、戦略の各方面で目標に対して著しい前進を続けます。2017年度の見通しは、堅調な業績の継続と事業基盤への自信を反映しています」。

2016年度第4四半期の業績

- 2016年度第4四半期の全世界での売上高は、前年同期比6.2%増の67億9,600万ドルと報告されました。全世界での調整後売上高は、為替レート変動による0.2%のマイナスの影響を除くと、6.9%増の67億8,400万ドルでした。
- 当期のヒュミラの全世界での売上高は15.5%増で、為替レート変動による0.7%のマイナス影響を除く、営業ベースでのヒュミラの売上高は16.2%増となりました。当期の米国内でのヒュミラの売上高は23.5%増でした。米国外でのヒュミラの売上高は、為替レート変動による2.0%のマイナス影響を除くと、4.1%増でした。ヒュミラの全世界の総売上高は、リウマチ、皮膚、消化器という三大市場カテゴリーの全てにおける継続的な躍進にけん引され、力強い成長を遂げています。
- 当期のイムブルピカの全世界売上高は5億1,100万ドル、そのうち米国内の売上高が4億3,400万ドル、米国外利益分配が7,700万ドルでした。
- 当期の売上総利益率はGAAPベースで77.1%でした。調整後売上総利益率は81.0%でした。
- 売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAPベースで24.3%でした。売上高に占める調整後の販売費および一般管理費の割合は23.9%でした。
- 売上高に占める研究開発費の割合は、GAAPベースで17.5%でした。調整後の研究開発費の割合は、全期パイプラインへの投資を反映し、17.3%となりました。
- 当期のGAAPベースの営業利益率は34.7%でした。調整後営業利益率は39.8%でした。
- 当初のGAAPベースの純支払利子は2億9,000万ドルでした。調整後純支払利子は2億5,100万ドルでした。当期のGAAPベースの税率は30.4%、調整後の税率は20.2%でした。
- 当期の希薄化後1株当たり利益は、GAAPベースで0.85ドルでした。調整希薄化後EPSは、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、6.2%増の1.20ドルでした。

第4四半期の主な出来事

- アッヴィは、増殖速度が緩徐な非ホジキンリンパ腫（NHL）である辺縁帯リンパ腫（MZL）の患者さんの治療に関するイムブルピカの承認を米国食品医薬品局（FDA）から取得したことを発表しました。現在、MZLを特定の適応症として承認された医薬品は他にありません。MZLは、特殊な血液がんとしてイムブルピカの5番目の適応症となります。
- アッヴィは、米国血液学会年次総会（American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition）で、慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫（CLL/SLL）の患者さんにおけるイムブルピカの使用を最長で5年間評価した長期追跡調査データを発表しました。この解析では、高リスクの患者さんを含む未治療の再発性/難治性CLL/SLLの患者さんの89%が完全または部分奏功を示しました。また、アッヴィは同総会にて、NHLに関する進行中の数件の試験から得られた有効性および安全性を示す有望な所見を発表しました。
- アッヴィは、過去の全身療法が無効であった、幹細胞または骨髄移植の重篤な衰弱性合併症である慢性移植片対宿主病（cGVHD）の患者さんにおけるイムブルピカを評価する第II相試験から得られた良好な結果を発表しました。同試験では全奏功率が67%となり、イムブルピカは有効性と持続的奏功を示し症状の重症度を低下させることが判明しました。2016年、1系統以上の全身療法が無効となった後のcGVHDに対して可能性のある治療薬として、イムブルピカが米国FDAから画期的治療薬およびオーファンドラッグの指定を取得しており、2017年度第1四半期に当該承認申請を提出する予定です。
- アッヴィは、CLLで、染色体17p欠失またはTP53遺伝子変異が認められ、B細胞受容体経路阻害剤が適していないかもしくは無効である成人患者さん、または化学療法およびB細胞受容体経路阻害剤が無効であり、染色体17p欠失またはTP53遺伝子変異が認められない成人患者さんに対するVENCLYXTO™（venetoclax）単剤療法の条件付き製造販売承認を欧州委員会（EC）から取得したことを発表しました。2016年には、過去に1回以上の治療歴があり染色体17p欠失が認められるCLL患者さんの治療薬としてFDAからもVenclextaの迅速承認を取得しました。VENCLEXTAは、アッヴィとロシユグループの一員であるGenentech社が共同で開発しています。

- 慢性C型肝炎ウイルス（HCV）感染患者さんの治療を目的とした研究段階のglecaprevir（ABT-493）／pibrentasvir（ABT-530）（G/P）汎遺伝子型、1日1回投与、リバビリン併用レジメンについて、アッヴィは「新薬承認申請」を米国FDAに提出しました。第III相試験では、8週間のG/P療法によって、HCV患者さんの大半が罹患する肝硬変の認められない患者さんにおける主要な全ての遺伝子型（GT1-6）で高い持続的ウイルス学的奏効（SVR）率が達成されました。代償性肝硬変の患者さんでは、12週間の治療後に高いSVR率が達成されました。重度慢性腎臓病の患者さんなど、治療選択肢が限られた患者さんにおいても高いSVR率が達成されました。直接作用型抗ウイルス薬（DAA）レジメンを使用した過去の治療が無効であった患者さんを含め、これまで治療の難しかった患者さんにおいて、12週間という短期間で高いSVR率が達成されました。ジェノタイプ1型に対するDAAを使用した過去の治療が無効であった患者さんの治療を目的とした研究段階のレジメンについて、アッヴィは米国FDAから画期的治療薬の指定を取得しました。アッヴィはEUでも当該承認申請を提出し、2017年第1四半期に日本で提出する準備も進めています。アッヴィは、2017年にこの次世代併用レジメンを上市する見通しです。
- アッヴィは腫瘍学や免疫学などの主な治療分野における初期段階の研究を進展させるため、大手医薬品企業と新たに数件の国際的研究提携を結ぶことを発表しました。数種類の癌におけるT細胞受容体療法に使用する標的ペプチドを発見および検証することを目的とした株式非公開の創薬標的探索企業Pure MHC社との研究およびライセンス契約、がん免疫療法と併用するための前臨床開発段階のMerTK阻害薬に関する韓国の大手スペシャリティ医薬品企業Dong-A-ST社との独占的ライセンス契約、炎症性疾患に対するアゴニスト抗体療法を発見することを目的とした創薬段階バイオテクノロジー企業Zebra Biologics社との提携がこれらに挙げられます。

2017年度通年の見通し

アッヴィは、2017年度通年のGAAPの希薄化後EPS見通しを4.55～4.65ドルとしています。アッヴィは、2017年度通年の調整後希薄化後EPSの見通しを中間値で13.9%となる5.44～5.54ドルと予測しています。2017年度の調整希薄化後EPSの見通しには、1株当たり0.89ドルの無形資産の償却費、ならびにその他の特定項目は含んでいません。

アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アッヴィは、100%子会社のファーマサイクリクス社を含めて世界で30,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コミットメントに関する詳細はwww.abbvie.comをご覧ください。よろしければTwitterアカウント@abbVieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

電話会議

アッヴィの主催により、本日午前8:00（中部時間）に投資家の皆さまを対象とした電話会議を開催いたします。会議では第4四半期の業績について議論します。電話会議はアッヴィ投資家向けウェブサイトinvestors.abbvie.com上でインターネット配信されます。電話会議のアーカイブは午前11:00（中部時間）以降ご覧になれます。

非GAAPの業績

2016年度および2015年度の業績に関して、調整前（GAAP）および調整後（非GAAP）の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上されたすべての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目（以下に掲載する調整表に記載）を除外しています。アッヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアッヴィの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2017年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、Private Securities Litigation Reform Act of 1995（1995年米国私募証券訴訟改革法）に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアッヴィの2015年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

アッヴィ

主要製品の売上高

第4四半期（2016年12月31日終了）

（未監査）

	純売上高（単位：100万米ドル）			前年同期比（2015年第4四半期）				
							米国外	
	米国	米国外	合計	米国	調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$4,286	\$2,498	\$6,784	12.5%	(1.3)%	(2.0)%	6.9%	6.7%
Humira	2,878	1,414	4,292	23.5	4.1	2.1	16.2	15.5
Imbruvica ^b	434	77	511	46.9	61.3	61.3	48.9	48.9
Viekira	54	257	311	(72.3)	(27.5)	(27.9)	(43.5)	(43.7)
Lupron	178	41	219	(5.4)	(13.2)	(11.5)	(6.9)	(6.6)
Synagis	—	270	270	n/a	(4.3)	1.3	(4.3)	1.3
Synthroid	205	—	205	5.9	n/a	n/a	5.9	5.9
Creon	213	—	213	14.9	n/a	n/a	14.9	14.9
AndroGel	174	—	174	(10.4)	n/a	n/a	(10.4)	(10.4)
Kaletra	26	107	133	(34.8)	(24.3)	(26.6)	(26.5)	(28.3)
Sevoflurane	22	79	101	0.9	(5.7)	(8.2)	(4.3)	(6.3)
Duodopa	11	67	78	>100.0	19.3	18.9	26.7	26.4

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a調整後売上高には、特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アッヴィ
 主要製品の売上高
 12カ月（2016年12月31日終了）
 （未監査）

				前年同期比（2015年12カ月）				
	純売上高（単位：100万米ドル）				米国外		合計	
	米国	米国外	合計	米国	調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$15,927	\$9,633	\$25,560	17.8%	6.7%	3.6%	13.3%	12.0%
Humira	10,432	5,646	16,078	24.1	4.3	0.7	16.1	14.7
Imbruvica ^b	1,580	252	1,832	>100.0	>100.0	>100.0	>100.0	>100.0
Viekira	342	1,180	1,522	(57.4)	42.7	41.3	(6.4)	(7.1)
Lupron	663	158	821	1.5	(5.2)	(8.5)	0.1	(0.6)
Synagis	—	730	730	n/a	(0.4)	(1.5)	(0.4)	(1.5)
Synthroid	763	—	763	1.1	n/a	n/a	1.1	1.1
Creon	730	—	730	15.5	n/a	n/a	15.5	15.5
AndroGel	675	—	675	(2.8)	n/a	n/a	(2.8)	(2.8)
Kaletra	116	433	549	(28.8)	(13.3)	(19.3)	(16.9)	(21.5)
Sevoflurane	80	348	428	(1.0)	(6.9)	(11.4)	(6.0)	(9.7)
Duodopa	37	256	293	>100.0	18.1	16.9	28.1	26.9

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a調整後売上高には、特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アツヴィ

連結損益計算書

第4四半期および12カ月（2015年および2016年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

	第4四半期 (12月31日終了)		12カ月 (12月31日終了)	
	2016	2015	2016	2015
売上高	\$ 6,796	\$ 6,400	\$ 25,638	\$ 22,859
売上原価	1,555	1,475	5,833	4,500
販売費および一般管理費	1,653	1,737	5,855	6,387
研究開発費	1,190	1,075	4,366	4,285
外部調達による仕掛研究開発費	40	—	200	150
営業経費合計	4,438	4,287	16,254	15,322
営業利益	2,358	2,113	9,384	7,537
支払利子（正味）	290	199	965	686
正味為替差損（差益）	(10)	2	303	193
その他費用（正味）	80	(12)	232	13
法人税控除前利益	1,998	1,924	7,884	6,645
法人税	607	407	1,931	1,501
純利益	\$ 1,391	\$ 1,517	\$ 5,953	\$ 5,144
希薄化後1株当たり利益	\$ 0.85	\$ 0.92	3.63	\$ 3.13
調整後希薄化後1株当たり利益 ^a	\$ 1.20	\$ 1.13	\$ 4.82	\$ 4.29
希薄化後の加重平均発行済株式数	1,623	1,640	1,631	1,637

^a 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第4四半期（2016年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年第4四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 1,998	\$ 1,391	\$ 0.85
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	210	170	0.10
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	10	10	0.01
外部調達による仕掛研究開発費	40	40	0.02
買収関連費用	63	42	0.02
偶発的対価の公正価格の変動	85	85	0.05
米国税法Section 987改正に伴う再評価	—	187	0.12
その他	55	39	0.03
調整後（非GAAP）	\$ 2,461	\$ 1,964	\$ 1.20

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は、主に研究開発の提携を反映しています。買収関連費用には、Pharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、主に利回り1.75%の当社のシニア債の償還に伴う債務償還費、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益、および当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年第4四半期						
	売上高	売上原価	販売費 および 一般管理費	研究 開発費	外部調達 による仕掛 研究開発費	支払利子 (正味)	その他費用 (収益)
調整前（GAAP）	\$ 6,796	\$ 1,555	\$ 1,653	\$ 1,190	\$ 40	\$ 290	\$ 80
特定項目を調整：							
無形固定資産の償却	—	(210)	—	—	—	—	—
マイルストーン支払および その他の研究開発費	—	—	—	(10)	—	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	—	(40)	—	—
買収関連費用	—	(53)	(5)	(5)	—	—	—
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	—	—	(85)
その他	(12)	(5)	(23)	—	—	(39)	—
調整後（非GAAP）	\$ 6,784	\$ 1,287	\$ 1,625	\$ 1,175	\$ —	\$ 251	\$ (5)

3. 以下に詳細を示すとおり、2016年度第4四半期の調整後税率は20.2%でした。

	2016年第4四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 1,998	\$ 607	30.4%
特定項目	463	(110)	(24.0)%
調整後 (非GAAP)	\$ 2,461	\$ 497	20.2%

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第4四半期（2015年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2015年第4四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 1,924	\$ 1,517	\$ 0.92
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	140	116	0.07
Pharmacyclics社買収関連費用	105	68	0.04
事業再編	79	58	0.04
利益準備金	125	101	0.06
分社化費およびその他	3	1	—
調整後（非GAAP）	\$ 2,376	\$ 1,861	\$ 1.13

Pharmacyclics社買収関連費用は、Pharmacyclics社買収に関連する補償金、統合その他の費用を反映しています。事業再編は、主に当社の全世界的な経営合理化に関連しています。分社化費およびその他は、主にアツヴィのAbbott社からの分社化および過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益に関連しています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2015年第4四半期			
	売上高	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費
調整前（GAAP）	\$ 6,400	\$ 1,475	\$ 1,737	\$ 1,075
特定項目を調整：				
無形固定資産の償却	—	(140)	—	—
Pharmacyclics社買収関連費用	—	(49)	(15)	(41)
事業再編	—	(24)	(39)	(16)
利益準備金	—	—	(125)	—
分社化費およびその他	(40)	(16)	(27)	—
調整後（非GAAP）	\$ 6,360	\$ 1,246	\$ 1,531	\$ 1,018

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年度第4四半期の調整後税率は21.6%でした。

	2015年第4四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$ 1,924	\$ 407	21.1%
特定項目	452	108	23.9%
調整後（非GAAP）	\$ 2,376	\$ 515	21.6%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

12カ月（2016年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年12カ月		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 7,884	\$ 5,953	\$ 3.63
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	764	615	0.38
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	80	80	0.05
外部調達による仕掛研究開発費	200	200	0.12
買収関連費用	392	273	0.16
偶発的対価の公正価格の変動	228	228	0.14
ベネズエラの通貨切下げによる損失	298	298	0.18
米国税法Section 987改正に伴う再評価	—	187	0.12
その他	59	70	0.04
調整後（非GAAP）	\$ 9,905	\$ 7,904	\$ 4.82

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費は主に、研究開発の提携、ならびにサードパーティとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には主に、Pharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却、ならびにStemcentrx社買収およびベーリンガーインゲルハイム社との提携に関連する補償金、融資等の費用が含まれています。その他には、利回り1.75%の当社のシニア債の償還に伴う債務償還費、無形資産の減損損失、当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用、税金引当金の増額、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益、および特許訴訟の和解に関連する前期のロイヤリティ収入が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年12カ月							
	売上高	売上原価	販売費 および 一般管理費	研究 開発費	外部調達 による仕掛 研究開発費	支払利子 (正味)	為替レート 変動による 純損失	その他 (正味)
調整前 (GAAP)	\$ 25,638	\$ 5,833	\$ 5,855	\$ 4,366	\$ 200	\$ 965	\$ 303	\$ 232
特定項目を調整：								
無形固定資産の償却	—	(764)	—	—	—	—	—	—
マイルストーン支払および その他の研究開発費	—	—	—	(80)	—	—	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	—	(200)	—	—	—
買収関連費用	—	(197)	(41)	(140)	—	—	—	(14)
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	—	—	—	(228)
ベネズエラの通貨切下げによる損失	—	—	—	—	—	—	(298)	—
その他	(78)	(66)	(38)	6	—	(39)	—	—
調整後 (非GAAP)	\$ 25,560	\$ 4,806	\$ 5,776	\$ 4,152	\$ —	\$ 926	\$ 5	\$ (10)

3. 以下に詳細を示すとおり、2016年通年の調整後税率は20.2%でした。

	2016年12カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 7,884	\$ 1,931	24.5%
特定項目	2,021	70	3.4%
調整後 (非GAAP)	\$ 9,905	\$ 2,001	20.2%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

12カ月（2015年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2015年12カ月			
	純利益		希薄化後	
	税引前	税引後	EPS	
調整前（GAAP）	\$ 6,645		\$ 5,144	\$ 3.13
特定項目を調整：				
無形固定資産の償却	419		328	0.20
分社化費	270		223	0.13
Pharmacyclics社との取引その他に関する費用	645		410	0.25
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	480		433	0.26
外部調達による仕掛研究開発費	150		150	0.09
Shire社提携解消費用	170		170	0.10
事業再編	113		82	0.06
利益準備金	165		129	0.08
その他	(17)		(9)	(0.01)
調整後（非GAAP）	\$ 9,040		\$ 7,060	\$ 4.29

分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。Pharmacyclics社買収関連費用は、Pharmacyclics社の買収に関連する補償金、取引、融資、統合その他の費用を反映しています。マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払およびFDAの優先審査保証（priority review voucher）のサードパーティからの購入が含まれます。外部調達による仕掛研究開発費は、主にC₂Nとの提携を反映しています。Shire社提携解消費用は、終了したShire社との取引に関連する外貨ポジションの残りの精算完了を反映しています。事業再編は、主に当社の全世界的な経営合理化に関連しています。その他には、主に過去に発表した提携でのマイルストーン支払が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2015年12カ月						
	売上高	売上原価	販売費 および 一般管理費	研究 開発費	外部調達 による仕掛 研究開発費	支払利子 (正味)	正味 為替差損
調整前 (GAAP)	\$ 22,859	\$ 4,500	\$ 6,387	\$ 4,285	\$ 150	\$ 686	\$ 193
特定項目を調整：							
無形固定資産の償却	—	(419)	—	—	—	—	—
分社化費	—	(5)	(265)	—	—	—	—
Pharmacyclics社との取引 その他に関する費用	—	(113)	(294)	(152)	—	(86)	—
マイルストーン支払および その他の研究開発費	—	—	—	(480)	—	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	—	(150)	—	—
Shire社提携解消費用	—	—	—	—	—	—	(170)
事業再編	—	(42)	(39)	(32)	—	—	—
利益準備金	—	—	(165)	—	—	—	—
その他	(40)	(16)	(3)	(4)	—	—	—
調整後 (非GAAP)	\$ 22,819	\$ 3,905	\$ 5,621	\$ 3,617	\$ —	\$ 600	\$ 23

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年通年の調整後税率は21.9%でした。

	2015年12カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 6,645	\$ 1,501	22.6%
特定項目	2,395	479	20.0%
調整後 (非GAAP)	\$ 9,040	\$ 1,980	21.9%